

クールアースいばらき大会 2022 が開催されました

第 1 回茨城県地球温暖化防止活動推進員全体研修会を同時開催 ～脱炭素チャレンジカップ 2023 予選会～

2022年8月25日、第2回エコ・カレッジ講座の午後の部、PART2にてクールアースいばらき2022大会が行われました。また、第1回茨城県地球温暖化防止活動推進員全体研修会も同時に開催しました。この大会は、翌年2月に開催される脱炭素チャレンジカップ2023の茨城県代表を決める予選会となっており、2014年に始まってから今年で9年目となります。

茨城県センターでは、毎年クールアースいばらき大会を開催し、この予選会を通して勝ち残った団体を茨城県代表として全国大会へ送り出してきました。脱炭素チャレンジカップは、全国から28団体が選出され、7つの大臣表彰を目指してプレゼン合戦を行うものとなっています。

今年のクールアースいばらき大会も、多くの団体から応募があり、事務局選考によりファイナリストに選ばれた4団体に日頃の取組を発表していただきました。

まず一団体目は「ジオラフター株式会社」様です。

ジオラフター株式会社は、土壤汚染の調査、対策工事をワンストップで対応できる指定調査機関です。今回は、二酸化炭素排出削減を加速するための新技術、土壤汚染対策技術の社会実装に向けて発表していただきました。

ジオラフター株式会社によると、土壤中の有機物を年間0.4%ずつ増やすことができれば、急速に進んでいる温暖化に歯止めをかけられる可能性があるとのことでした。そのための技術として、汚染浄化と二酸化炭素排出削減の融合技術を生み出し、特許を取得されたとのことでした。土壤汚染が進んだ土地を浄化するために、これまで取られてきた科学的な方法や生物学的な方法に、活性炭を融合することでさらに効率化することができ、さらに、光合成によって炭素を蓄えた植物を活性炭として地中に埋めることから、空気中に含まれる炭素の削減にもつながるといって革新的技術でした。



二団体目は「Peach Other 茨城」様です。

昨年に続き、3回目のクールアースいばらき大会出場と、パワーあふれる活動を行っており、気候変動について学び、学んだことを伝えるため、日ごろから施設・企業見学や勉強会などの活動を展開しています。

そんなPeach Other茨城の今年の発表テーマは「環境フェスティバル那珂2022開催報告」です。「お互いに助け合ってみんなハッピーになろう」をモットーに幅広い活



動を行うこの団体は、那珂市でフェスティバルを開催し、600名の来場者数に40もの協力団体、23名の学生ボランティアを交えて、マイクロプラスチックをテーマにした映画や、気候変動の影響を受けるキリバスの声を届ける等の活動を行ったそうです。

スクリーン越しにも元気がもらえるような写真が多く、未来が明るくなる活動報告となりました。

三団体目は「リビング館ホンダ」様です。

LED照明の技術を磨き、植物種の成長を促すRYUJINを開発しており、脱炭素チャレンジカップ2014をきっかけに沖縄県の地球温暖化防止活動推進員と協働することとなり、台風被害を受け続ける北部地区の東村のバラ園を改造したそうです。そして、ソーラーシェアリングを用いた「北限コーヒー」の栽培を行っており、南部地区の南城市では夜間照明をRYUJINに切り替え、海ぶどうの栽培にも活かしているそうです。そして、今年からコーヒー生産技術を地元茨城県に持ち込み、脱炭素コーヒー栽培の実現につなげました。



茨城県のみならず、遠く離れた沖縄でも脱炭素につながる活動を行うリビング館ホンダの活動は巡り巡って地元茨城県をより発展させるための活動でもありました。

そして四団体目、最後の発表は「ひたちなか市立前渡小学校」様です。

「ほたるの森」と名付けられたビオトープづくりから始まった小学校の活動は、将来を担う子供たちに自然環境への興味や脱炭素への意識を高める役割を持っています。この活動は20年以上も続いているようで、今では地域の方々にとってもかけがえのない場所に育ったそうです。ホテルの保全だけでなく、ホテル観賞会を通して生き物について興味を持ったり、ザリガニ駆除を通して外来種問題について考えたり、地元根付いた活動を通して、自然と子どもの両方を守っていく活動でした。



4団体の発表が終わり、投票集計をしている間に愛知県地球温暖化防止活動推進員のファンキー健一さんが講演してくださいました。

笑顔届け隊 ハピネスレインボーの代表として、高齢者や子どもたちと様々な活動をしたり、劇団シンデレラの演出・演技指導員として自然を守る大切さをファミリーミュージカルで伝え広める活動をしてきたファンキー健一さんからは、舞台に立って活動してきたからこそ、自信をもって発表するコツを教えてくださいました。



そして、いよいよ結果発表となりました。

開票の結果、リビング館ホンダ様とひたちなか市立前渡小学校様が、クールアースいばらき大会で初めてとなる同点での最優秀賞受賞となりました。

前代未聞の結果に会場は大盛り上がりを見せ、茨城県代表として、2団体が脱炭素チャレンジカップ2023に出場することが決まりました。

